

---

この研究プロジェクトはアジアとアメリカの間の政治的・経済的・文化的なもろもろの関係を軸におきながら、アジアの抱えているさまざまな問題をとりあげて研究することを目的にスタートした。もちろん、このプロジェクトでそうした問題のすべてに分析のメスをあてることは不可能である。プロジェクトへの参加者はそれぞれもっとも関心のある問題をとりあげた。それらの問題を国際的枠組みのなかで考察すること、その研究を今後における日本のとるべき政策のあるべき方向への示唆と結びつけること、の二つは、プロジェクトの参加者がつねに念頭においてきたものである。どの研究にも強い政策指向の言及が直接的にあるいは間接的になされているのはそのためである。

研究は政治、経済、宗教の各領域にまたがっているが、プロジェクトとしての共通の認識をもつために、始めの段階と途中の段階をあわせ、6回の研究集会をもった。この研究プロジェクトが多彩な研究者の参加によってこのような研究成果をまとめることができたことはきわめてうれしいことである。

1996年1月

「日米関係を軸にみた東・東南アジアの政治と経済」

プロジェクト代表研究員

渡部 福太郎

---